春日山　かすがやま　　第５号‘２１／０５／２１

http://www.miharu.ed.jp　or　www.380.jp　e-mail:azuma@miharu.ed.jp

戸外で気持ちよく

今週はクラス毎にこぐまの森ガリバー（子どもたちは「ガリバー」と言っています）に出かけて、幼稚園に残ったクラスは平和公園であそんでいます。

今年度はじめて出かけるガリバーでは新入園児がいるので「探検」をしてこぐまの森はどんなところなのか、何があるのか、草木はどんな風なのか…、そしてどんな面白いことができるのか、を感じながら、考えながらひとまわり巡りました。そして、プレイホールガリバーの中にも入って、外観からはわからないガリバーの中のやわらかな雰囲気も感じ取ってくれた事でしょう。

平和公園ではいくつかの保育園やこども園があそびに来ていますが、ほとんど固定遊具で遊んでいます。美晴の子どもたちは固定遊具のあるスペースは使わず、広い原っぱや自分たちであそびを創り出せる周辺の林の中であそんでいます。

着実に生活が子どものものに

午後保育は三日行っただけで新型コロナ対策の臨時措置で午前保育になっていますが、子どもたちはしっかり午後保育でも無理ないペースで生活できています。

折々にお母さんが恋しくなって泣いている子どももいますが、興味や関心を幼稚園の営みに向ける事で切り替えができる様になっています。

進級児はやっと午後保育が始まり、いよいよひとまわり大きくなった自分を発揮し始めたところで保育時間が短くなってしましました。しかし、一日のリズムをしっかり切り替え、周りの子どもや状況を意識しながら生活しています。

可能な限り生活の基盤を維持して

新型コロナウイルス感染症が大変厳しい状況になっています。保護者やご家族の皆様においては、様々な不安があることと思います。現下の状況では予防のための休園という臨時措置も選択肢の一つですし、必要と判断した場合は直ちに実施する準備は出来ています。

しかし、昨年の経験からリスク管理が可能であれば、子どもの生活のルーティンはなんらかのかたちで継続することが大切であることがわかっています。

年度はじめの説明会でもお話ししましたが、幼児教育・保育では密接と密集を避けては子どもの意識や関係性が歪みかねません。それは、乳幼児期の子どもにとっては心理的な距離と物理的な距離は不可分なものだからです。ただ、幼稚園の保育は継続しますが、保護者の思いや考え、家庭や周囲の状況から登園を自粛されお休みする事も大事だと考えていますので、適時適切にご判断ください。

引き続き感染対策にご協力ください

これまでも登園の自粛や発熱などの症状が認められた時の速やかなお迎えのご協力。また、休日なども問わず情報共有や情報提供をいただいております事に心から感謝いたします。

今週も新規の感染確認が大変多い状態が続いていますが、寄せられた情報では、札幌市の PCR 検査や疫学調査が追いついていない状況が推察されます。今出来る事は、可能な限りコロナウイルスから子どもを遠ざける事だと考えます。引き続き早めの対応と情報共有をお願いいたします。